

■事例取材 詳細整理

☆事例No.7「吹田元気農家とハピスマ朝市 In さんくす夢広場」

吹田市では地産地消を紹介する朝市が豊津公園と吹田市役所、JR吹田駅前さんくす夢広場で開催されています。その内、さんくす夢広場では、吹田市農業振興研究協議会、障がい者福祉事業所のHAPPY&SMILE、吹田さんくす名店会商業協同組合、吹田市が共催し、イベントを開催しています。

平成26年度は、栄通り商店街にあるHAPPY&SMILEの販売店で実施しましたが、平成27年度からは、より市民に知ってもらう取り組みとしてJR吹田駅前のさんくす夢広場に場所を移して、開催しています。また、HAPPY&SMILEのある栄通り商店街が共催しています。



市民事業のコンセプト

農業
(地産地消)



障がい者福祉
事業所



商業者
事業者



地産地消でつな
がるスマイル朝市
(*^_^*)

どうやって活動に結び付いたか(プロセス)

きっかけ

○市内の農業振興の一環として

- ・農業振興の一環として、当時のまち産業活性部の提案で朝市が始まった。

○障がい者福祉事業所との結びつき

- ・当時のまち産業活性部から、HAPPY&SMILE に対し、地産地消の農作物と一緒に、販売をしないかという話を持ちかけ、朝市に参加することになった。

展開

○場所をどうしたか

- ・平成26年度はHAPPY&SMILEの店舗前で実施したが、スペースが狭いことから、平成27年度からさんくす夢広場で実施することになった。
- ・当時のまち産業活性部が、さんくす夢広場の管理者である道路公園部、吹田警察署と広場の使用に関する調整を行った。

○商業者・事業者の協力

- ・イベント開催にあたっては、集客に繋がる運営面（PR、運営アドバイス、地元商店街との提携指南など）において、吹田さんくす名店会商業協同組合が協力している。

めざすもの

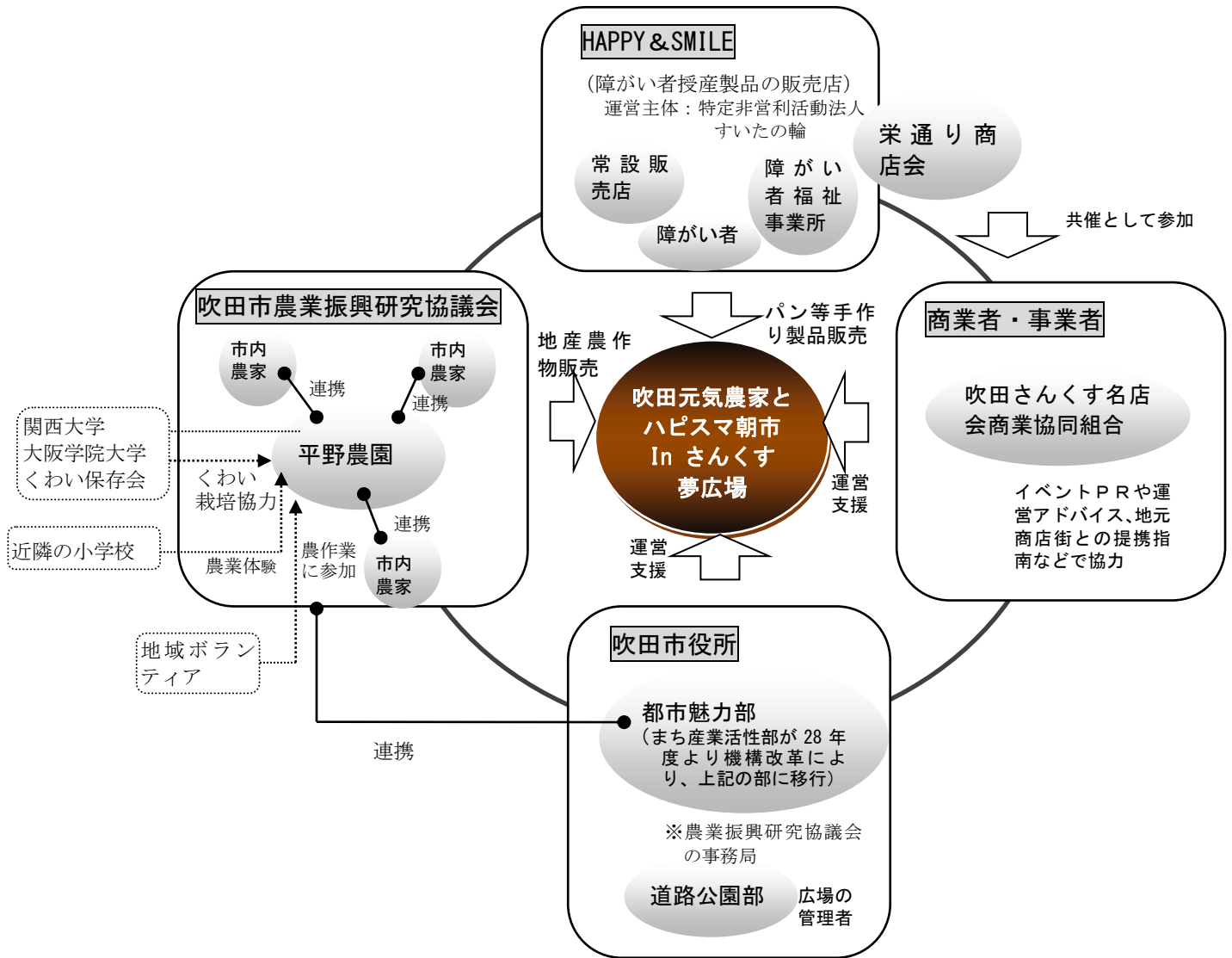
○都市農業の大切さを知ってもらう。

- ・地産地消の都市農業の大切さを知ってもらい、未来に残していきたい。特に今の子ども達に、自然本来の味を知ってもらいたい。

○障がい者の就労支援

- ・障がい者も仕事を選べたり、新しい仕事を作っていけるような環境づくりをめざしている。

<協働相関図>



平野農園



HAPPY & SMILE



吹田さんくす